
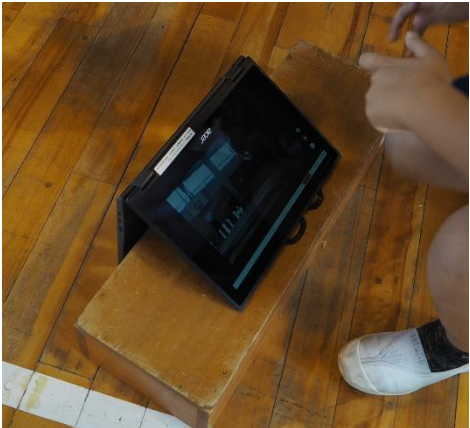



体育科 (3年)

段階	学習内容・活動	○指導上の留意点 ◎スタンダード ★ICT
導入 10分	<p>1 集合、整列、挨拶、健康観察を行う。</p> <p>2 準備運動をする。</p> <p>※3に入る前に場の（準備）安全確認をさせる。</p> <p>3 感覚づくりタイムをする。</p> <p>①ゆりかご1（前転の練習） ※自分の前に人を立たせるなどしてタッチさせるとよい。</p> <p>②ゆりかご2（後転の練習） ※後転させると頭を床についてしまう可能性があるため、マットを広く使った場合のみ、後転をさせてもよい。 ※実態によって変わる。共通で行うときは、扇状にマットを敷くのもひとつの方法</p>	<p>○◎身なりを整え、気持ちよく学習を始められるようにする。</p> <p>○◎一つ一つの動きのポイントを確認しながら丁寧に行わせるようにし、正確にできている児童を全体の前で称賛するようにする。</p> <p>①ゆりかご1は、手のひらを頭の上に置き、両手をマットへつける。足の反動を利用し、勢いよく元にもどる。その勢いで、起き上がる。</p> <p>②ゆりかご2は、手のひらを上にし、後転の手のつき方の準備をし、後ろへ。腰が顔の上に来たとき、両手をマットへつけさせる。また、足のつま先を頭の向こうのマットへつけさせる。</p> <p>○5人マットに並んで感覚づくりタイムを行う。</p> <p>○扇形にマットを並べる。</p>
展開 25分	<p>4 本時のねらいの確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ねらい 自分の課題に見合った場で開脚後転の練習をしよう。</p> </div> <p>5 課題別学習をする。（時間で移動）</p> <p>① 段差の場（細マット） ・より簡単に起き上がりの練習を行う。 （頭や背中がつくところを高くする）</p> <p>② 坂道の場合（踏切板） ・回転の勢いを得て練習を行う。 ・体を丸めて転がれるように練習を行う。</p> <p>③ スピードの場合（ケンステップ） ・お尻の着く位置を遠くに着地して勢いをつける練習をする。</p> <p>④ 手をつく場（マットのみ） ・体を起こすために、腕を勢いよく伸ばす （マットを力強くおす）ために、掛け声をかけたり、伸ばすタイミングを教え合ったりしながら練習をする。</p> <p>6 成果記録タイム ・本時の練習の成果を撮影する。</p>	<p>◎体育では、「ねらい」。</p> <p>○◎同じグループ4～6人で互いに見合いながら、動きのアドバイスをするように助言する。</p> <p>○◎1は技を行う人、2はマットを元の位置に戻す人、3、4は1の技を見る人、5は1の後ろで順番を待つ人とし、役割をローテーションして行う。 ※この時のマットの敷き方は、それぞれの練習によって変わってくる。</p> <p>○タブレットを使って技を撮影し次時の活動に生かす。★自分の現状の確認</p>
整理 10分	<p>7 後片付けをする。 本時のまとめ、振り返りをする。 学習カードの記入をする。</p> <p>8 整理運動、健康観察をし、次時の予告をする。 挨拶をする。</p>	<p>○友達と協力して安全に片付けさせる。</p> <p>○◎本時の振り返りを行い、学習カードに自己評価などを記入させる。</p> <p>○◎元気のよい挨拶で授業を終わりにする。</p>

段階	学習内容・活動	○指導上の留意点 ◎スタンダード ★ICT
<p>導入 10分</p>	<p>1 集合、整列、挨拶、健康観察を行う。</p> <p>2 準備運動をする。</p> <p>※3に入る前に場の(準備)安全確認をさせる。</p> <p>3 感覚づくりタイムをする。</p> <p>①ゆりかご1 (前転の練習) ※自分の前に人を立たせるなどしてタッチさせるとよい。</p>  <p>②ゆりかご2 (後転の練習) ※後転させると頭を床につけてしまう可能性があるため、マットを広く使った場合のみ、後転をさせてもよい。 ※実態によって変わる。共通で行うときは、扇状にマットを敷くのもひとつの方法</p>	<p>○◎身なりを整え、気持ちよく学習を始められるようにする。</p> <p>○◎一つ一つの動きのポイントを確認しながら丁寧に行わせるようにし、正確にできている児童を全体の前で称賛するようにする。</p> <p>①ゆりかご1は、手のひらを頭の上に置き、両手をマットへつける。足の反動を利用し、勢いよく元にもどる。その勢いで、起き上がる。</p> <p>②ゆりかご2は、手のひらを上にし、後転の手のつき方の準備をし、後ろへ。腰が顔の上に来たとき、両手をマットへつけさせる。また、足のつま先を頭の向こうのマットへつけさせる。</p> <p>○5人マットに並んで感覚づくりタイムを行う。</p> <p>○扇形にマットを並べる。</p>  

<p>展開 25分</p>	<p>4 本時のねらいの確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ねらい 自分の課題に見合った場で開脚後転の練習をしよう。</p> </div> <p>5 課題別学習をする。(時間で移動)</p> <p>①段差の場 (細マット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より簡単に起き上がりの練習を行う。 (頭や背中がつくところを高くする) <p>②坂道の場合 (踏切板)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回転の勢いを得て練習を行う。 ・体を丸めて転がれるように練習を行う。  <p>③スピードの場 (ケンステップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お尻の着く位置を遠くに着地して勢いを付ける練習をする。 <p>④手をつく場 (マットのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を起こすために、腕を勢いよく伸ばす (マットを力強くおす) ために、掛け声をかけたり、伸ばすタイミングを教え合ったりしながら練習をする。 <p>6 成果記録タイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の練習の成果を撮影する。 	<p>◎体育では、「ねらい」。</p>  <p>◎◎同じグループ4～6人で互いに見合いながら、動きのアドバイスをするように助言する。</p> <p>◎◎1は技を行う人、2はマットを元の位置に戻す人、3、4は1の技を見る人、5は1の後ろで順番を待つ人とし、役割をローテーションして行う。</p> <p>※この時のマットの敷き方は、それぞれの練習によって変わってくる。</p> <p>○タブレットを使って技を撮影し次時の活動に生かす。★自分の現状の確認</p>
	<p>整理 10分</p>	<p>7 後片付けをする。 本時のまとめ、振り返りをする。 学習カードの記入をする。</p> <p>8 整理運動、健康観察をし、次時の予告をする。 挨拶をする。</p>